

活動報告書

今月の主な活動

10月はお蚕さんの羽化記録撮影の挑戦していました。2、3日で羽化し、その後数日でお亡くなりになるのだらうと思込んでいたので、荷受けの検査で取り出したお蚕さんを5匹もらい、すぐにセッティングしてインターバル撮影で開始したものの、なかなか変化がなく、気づけば1匹目が羽化するまで5日掛かりました。

ずっと動画撮影で回してしまうとメモリが足りなくなると思ったので様子を見ながらインターバルの間隔を変えたりしていたのですが1匹目が飛び出した瞬間の撮影が出来ておらず、液体だけがこぼれていたのでは、爆発していなくなったのかと思ったら、蓋の陰にしっかりモスラ化したお蚕さんがおりました。

その後どんどん羽化し、卵をケースに産み付けていき、汁は飛び散り殺戮現場のようなホラーにケースの中がなっていく、記録用にしてもなかなかグロテスクになってしまいました。

もう1回荷受けがあったので次は流れも分かったので羽化しそうなタイミングでカメラを回したいと思っています。気づけば繭から取り出してから1か月近く餌も食べずに生きていました。お腹が段々小さくなっていったので、体内の栄養だけで生きていられるのでしょうか。



さらに今月は2つほどシルク推進機構から新商品が販売開始されました。一つは玉繭を簡単なお守り風にした商品でその同胞するグラフィック部分を作らせていただきました。

この制作中、実際に横で羽化し、スプラッター状態の虫かごの中で交尾して、卵を産み続け、壁が足りなくなったら自分の抜け殻にでも卵を等間隔で産み付けていくお蚕さんの生命力を見ていたら、虫の命って凄いなと見続けてしまい、昆虫博士のフェアブルになった気分でした。羽化したお蚕さん自体は製品になりませんが、お蚕さんの一生を知ることができた貴重な体験でした。繭を見る目が変わります。次は他の人にもこのお蚕さんの一生を体験いただける動画が残せるよう今年最後の荷受けで譲っていただいたお蚕さんで挑戦中です。

